通気性と防水性が合体した
ニューエアリー採用。

ウィングゾーン OD-L ¥11,000

16KH-40109 サイズ：23.0〜29.0
ホワイト/パープルにブラック/ゴールド 他1色
●甲：人工皮革 ●底：ゴム、合成樹脂 SORBOTHANE

アウトドア専用のグリップ性能。

ウィングゾーン OD-S ¥7,900

16KH-41162 サイズ：23.0〜29.0
ホワイト/ネイビーにレッド/シルバー 他1色
●甲：人工皮革 ●底：ゴム、合成樹脂 SORBOTHANE

攻守に、弾む。ハンドボール協会公認の検定球、準検定球。

16OH-202
¥4,700
検定球
亀甲型
天然皮革2号
HL-2

16OH-203
¥4,800
検定球
亀甲型
天然皮革3号
HL-3

16OH-212
¥4,400
準検定球
亀甲型
天然皮革2号
HL-2A

●記載価格はすべて税抜き価格です。消費税相当額はお客様にご負担いただくことになります。
●ミズノ製品についてのお問い合わせ・ご相談は——「ミズノお客様商品相談センターMUSIC」 TEL：東京(03)3233-7110 大阪(06)614-8110

日本協会だより

9月度常務理事会

日　時　平成7年9月2日(土)
　　　　午前10時30分～午後4時
場　所　岸記念体育館
出席者　中澤専務理事、佐野監事、常務理事7名、参事1名

《報告事項》

一　オーナー会議(8月29日開催)について
　分科会、総会での討議。会合も年2～3回開催していく。

二　全日本チームの動向について
　全日本男子はオルソンコーチを迎えて上昇している旨報告あり。アジア選手権大会(オリンピック予選)メンバー・スタッフを了承。チーム97熊本、ドイツ遠征の結果が報告された。女子ジュニアは9月2日にブラジルへ出発する。

三　ハンドボールの普及の現状について
　登録チーム数の推移を他競技と比較して報告された(関連記事4頁)

四　国際委員会報告

五　企画委員会報告

六　96、97年度スケジュール(国内・国際)案について
　97年5月には各チーム、各連盟、各都道府県協会にスケジュール調整を依頼し、観戦・応援のお願いをする。

七　機関誌、今後の掲載予定について

八　指導・普及委員会報告
　小学生大会、来年度も京都協会中心に進める。中学生委員会、JOC関係について平成5年度めどに開催方法を見直し。指導教本、ビデオの販売の状況と拡大。コーチ講習会修了者。コーチ資格制度の義務づけ(日本リーグにも働きかける)

九　全日本実業団連盟より
　平成8年4月2日から12日に日独交流を行う。

十　第50回国体出場チーム決定
　9月21日、抽選日。

十一　日本リーグ委員会報告
　プレイオフは海外レフェリー要望。第20回記念大会の盛り上げと行事計画を検討中。

十二　世界大会(97年)PR用横断幕について
　都道府県協会へ配布済。パンフ1万枚、チラシ5万枚作成。

十三　男女世界大会(ジュニア含む)記録
　ジュニアでの結果が将来の結果に反映している。

《案件事項》

一　97年世界選手権について
　渡邊副会長より8月中旬に行われたIHF、CWLとの会談について報告された。96年プレ大会に審判講習会を開催する様言われているが、この件はIHFに問い合わせ中。レフェリーコースの計画は別途立てることにする。

二　ユニフォーム広告について
　引き続き継続して研究し、次回に提案。

三　社会人大会の名称並びにリージョナル大会
　開催について至急プランを提出。次回決定する。

四　第47回全日本総合選手権大会要項
　男子16チーム(日本リーグ10、実連1、教職員1、学生3、クラブ1)
　女子16チーム(日本リーグ9、実連1、教職員1、学生4、クラブ1)

五　バングラデシュへの物品援助
　ボール等、大西常務理事他総務であたる。アジア関係も含めて検討する。

六　全日本チーム(男子)96年度強化に伴い国内スケジュールの調整
　①ナショナル活動優先させる。
　②ナショナルチームが国内に滞在の時は国内の大会に出場する。
　③日本リーグ開催を短期集中で行う。
　なお、9月16日の日本リーグ運営委員会において主旨説明と理解を求めた上対応する。

CONTENTS

男女ナショナルのヨーロッパ遠征で成果

7月29日から8月22日にかけて男子ナショナルチームが行ったヨーロッパ遠征は、全18戦して8勝10敗の成績だった。試合結果は別表の通り。（ ）内数字は前半スコア。

女子ナショナルチームは6月末から7月上旬にヨーロッパ遠征を行った。デンマークではジュニアナショナル、ナショナルチームと2戦ずつ対戦したものの、いずれも敗れるという結果だった。対戦スコアは別表の通り。

男子Nヨーロッパ遠征試合結果

▽7月31日
日　本23（12－11）22スウェーデンJr
▽8月1日
日　本15（7－12）19スウェーデンJr
日　本10（6－7）11Drott（スウェーデン）
▽8月2日
日　本20（12－11）19Drott（スウェーデン）
▽8月3日
日　本18（9－13）20Virum（デンマーク）
▽8月7日
日　本20（10－10）23Helsinger 1 F（デンマーク）
▽8月9日
日　本21（11－11）25Kristianstad（スウェーデン）
▽8月11日
日　本25（12－11）22Lugi（スウェーデン）
▽8月12日
日　本24（12－10）20Ystad（スウェーデン）
▽8月13日
日　本23（14－13）24Ajax（デンマーク）
▽8月14日
日　本20（10－11）19Virum（デンマーク）
日　本15（7－6）12Sandfjord（デンマーク）
▽8月15日
日　本19（7－10）20Stavsten（デンマーク）
▽8月16日
日　本15（8－11）22Dranmen（デンマーク）
▽8月18日
日　本15（9－15）25Redbergslid（スウェーデン）
▽8月19日
日　本10（8－8）25Wallau Massndeim（スウェーデン）
日　本23（11－8）20Pontault Combault（スウェーデン）
▽8月20日
日　本18（7－9）17Aalborg（スウェーデン）

女子Nヨーロッパ遠征試合結果

▽6月29日
日　本18（10－15）27デンマークJr
▽6月30日
日　本25（9－12）29デンマークJr
▽7月2日
日　本13（8－18）41デンマークN
▽7月5日
日　本20（9－21）39デンマークN

IHF理事会で3大会を決定

6月8日から10日にトルコ・イズミールで開催されたIHF理事会で、次のイベントが正式決定した。

▼第13回女子世界選手権大会
開催地にドイツを決定。開催予定日は1997年12月2日から15日。

▼第11回女子ジュニア世界選手権大会
アイボリーコースト（象牙海岸）が開催地に立候補。

▼第11回男子ジュニア世界選手権大会
トルコ開催を承認。期日は未定。

▼トレーナーシンポジウム

1997年の開催国はカナダに決定。

全日本教職員選手権大会

男子は香川教員、女子は神奈川教員が優勝

第50回国民体育大会ハンドボール競技リハーサル大会となった全日本教職員選手権大会は8月8日から13日までの6日間、広島市佐伯区スポーツセンター・大体育室他で開催された。男子は昨年に続いて香川教員が優勝を飾り、女子も神奈川県教員が連覇を果たした。試合結果は別掲のとおり。

男女の優秀選手（ベストセブン）には次の選手が選ばれた。

▼男子

男子

優勝：香川教員　決勝 35－25

1回戦
- 香川教員（香川）44－19 スワロー兵庫（兵庫）
- 三重教員ハンド（三重）24－30 わかくさクラブ（奈良）
- 徳島教員倶楽部（徳島）17－35 愛知教員A（愛知）
- 宮崎教員（宮崎）18－16 静岡教員クラブ（静岡）
- 埼玉教員クラブ（埼玉）38－9 SAS瀬戸大橋オールスターズ（岡山）
- 岩手教員クラブ（岩手）23－21 京都教員鴨川クラブ（京都）
- 広島県教職員（広島）26－23 石川県教職員いぬわしクラブ（石川）
- 山口県教職員（山口）21－23 栃の葉クラブ（栃木）
- 福島クラブ（福島）52－15 滋賀教員（滋賀）
- 佐賀教友クラブ（佐賀）20－25 岐阜教員（岐阜）
- 神奈川教員（神奈川）20－30 福岡教員（福岡）
- 愛媛教員クラブ（愛媛）20－29 茨城コンドルズ（茨城）
- 愛知教員B（愛知）19－29 長野教員（長野）
- 福井教員チーム（福井）29－24 北海道教員クラブ（北海道）
- 岡山教員（岡山）19－24 埼玉フェニックス（埼玉）
- 千葉教員（千葉）14－37 京都教員クラブ（京都）

2回戦
- 43－13 / 27－18 / 30－21 / 17－25
- 31－11 / 34－20 / 31－21 / 18－24

準々決勝
- 25－20 / 25－22
- 23－17 / 15－31

準決勝
- 34－21 / 20－15

3位決定戦：京都教員　埼玉教員 16－26 京都教員

女子

優勝：神奈川教員　決勝 25－17

1回戦
- 神奈川教員（神奈川）34－4 福井教員クラブ（福井）
- 白梅三芙蓉会（岩手）15－28 埼玉教員白小鳩（埼玉）
- レキオクラブ（沖縄）17－16 京都教員クラブ（京都）
- 山口クラブ（山口）12－19 三重教員女子（三重）
- 栃の葉女子教員チーム（栃木）21－29 大阪教員（大阪）
- 群馬教員クラブ（群馬）24－20 広島ハンド（広島）
- 福島教員クラブ（福島）18－13 愛媛教員女子（愛媛）
- 長崎県・佐賀県混成チーム 12－26 愛知教員WINS（愛知）

2回戦
- 18－10 / 22－20
- 28－14 / 12－20

準決勝
- 18－17 / 8－33

3位決定戦：大阪教員　レキオ 26－14 大阪

GK 高木 優明（香川教員）
CP 田中 潤（香川教員）
CP 河合 哲（香川教員）
CP 小澤 邦紀（福島クラブ）
CP 益崎 弘幸（福島クラブ）
CP 松村 敏彦（京都教員）
CP 亀井 良和（埼玉教員）

▼女子

GK 安室 茂美（神奈川教員）
CP 小暮 美幸（神奈川教員）
CP 小澤摩里子（神奈川教員）
CP 大久保恵子（愛知教員）
CP 疋田智津子（愛知教員）
CP 比嘉恵津子（レキオクラブ）
CP 橋本 加代（大阪教員）

友よ　ほんとうの空に　とべ！

ふくしま国体近づく

「友よ ほんとうの空にとべ！」のスローガンのふくしま国体が、いよいよ10月15日から19日までの5日間にわたり競技が開催される。参加人員は男女合わせて1040名の選手が集うことになる。

競技会場は次の通り。

第50回国民体育大会参加チーム一覧表

	成年男子１部		成年男子２部		成年女子		少年男子		少年女子	
北海道	北海道	エルムクラブ	北海道	北海道学生選抜	北海道	函館ホッパーズ	北海道	北海道選抜	北海道	北海道選抜
東北	岩手	花巻クラブ	岩手	岩手選抜	宮城	宮城選抜	岩手	岩手選抜	岩手	岩手選抜
	秋田	湯沢ハンドボールクラブ	宮城	宮城選抜			秋田	秋田県選抜	秋田	県立大曲農業高校
	山形	東根クラブ								
関東	群馬	群馬選抜	茨城	茨城選抜	山梨	シャトレーゼ	茨城	茨城選抜	茨城	茨城選抜
	埼玉	大崎電気	埼玉	埼玉選抜			東京	東京選抜	埼玉	埼玉選抜
	東京	㈱中村荷役	千葉	千葉選抜			神奈川	全神奈川	東京	東京選抜少年女子
	神奈川	全神奈川								
北信越	富山	全富山	富山	全富山	石川	北国銀行	福井	北陸高校	福井	県立福井商業高校
	福井	北陸電力								
東海	愛知	大同特殊鋼	愛知	愛知選抜	三重	ジャスコ	愛知	愛知選抜	愛知	愛知選抜
	三重	本田技研					三重	三重選抜	岐阜	岐阜選抜
近畿	京都	京都クラブ	大阪	オール大阪	大阪	大和銀行	大阪	大阪高校選抜	京都	京都選抜
	奈良	奈良選抜	兵庫	西宮東クラブ			兵庫	兵庫選抜	大阪	大阪高校選抜
	和歌山	那賀クラブ								
中国	広島	広島県選抜	岡山	全岡山	広島	広島イズミクラブ	山口	山口県選抜	山口	山口県選抜
	山口	トクヤマ	広島	広島県選抜						
四国	香川	香川選抜	香川	香川選抜	香川	香川銀行ハンドボールクラブ	香川	香川選抜	愛媛	愛媛選抜
九州	福岡	福岡教員	熊本	全熊本	熊本	オムロン	長崎	長崎県高校選抜	福岡	福岡選抜
	佐賀	アラコ	沖縄	沖縄選抜			沖縄	興南高等学校	熊本	熊本選抜
	熊本	本田技研熊本								
開催地	福島	福島クラブ	福島	ふくしまクラブ	福島	ムネカタ	福島	福島選抜	福島	福島選抜
計	22		16		10		16		16	

◎成年一部・成年女子
本宮町総合体育館、本宮体育館の二か所
福島県安達郡本宮町高木黒作1番地
本宮町総合体育館内実行委員会事務局
☎0243-34-2100

◎成年男子二部・少年男子・少年女子
石川町総合運動公園
石川町総合体育館
多目的広場
石川町立石川中学校体育館
（但し雨天時のみ）

福島県石川郡石川町渡里沢296-8
石川町総合体育館内実行委員会事務局
☎0247-26-1676

◇なお審判会議は10月13日（金）午後1時から本宮町勤労青少年ホールで開かれる。
☎0243-33-4488

◇監督・代表者会議は10月13日（金）午後3時よりサンライズもとみや（大ホール）で開かれる。
☎0243-33-4412

平成7年度オリンピック有望選手

特別研修会開催される

JOCは8月21日から24日まで、福岡市内においてJOCジュニアオリンピック大会等において優秀な成績を収め、かつ将来性のある選手の中で認定した「オリンピック有望選手」に対して研修会を行った。

ハンドボールからは左記の選手が参加した。

▽前田 誠一（15才）
浦和学院高校1年

▽森 雅之（15才）
富山県立氷見高校1年

▽上村 典子（15才）
山口県立徳山高校1年

トップアスリートを囲んで

青春よみがえれ

寝屋川高校OGが想い出集発刊

大阪府立寝屋川高校女子ハンドボール315会は、寝屋川高校第3回生から15回生のOGの集いで、毎年1回集まっている。3回生も還暦を過ぎ、想い出も薄れるばかりなので40年余り前を振り返って「ハンドボールにかけた青春」を残そうと、3回生の大槻明子さん（旧姓日野）が中心となり各卒業生が集ってつくった想い出集。

寝屋川高校女子ハンドボール部は昭和23年に部がつくられ、3回生（23年）から15回生（37年）の間、インターハイでは第3、5、7、9回の大会に優勝。また国体では第9回大会優勝と過去5度の輝かしい全国優勝を果たしており、初期の高校女子ハンドボール界をリードしてきた。名将中出盛雄監督の指導のもと幾多の困難と猛練習で勝ちえた大栄冠とスポーツを愛する仲間とのつながりは、今後もきっと引き継がれることだろう。

第9回インターハイ（函館）での寝屋川、熊本市立高校が延長引き分け9－9により両軍優勝のゲームは、日本ハンドボール史上語り草になっている。

冊子希望の方は左記に問い合わせて下さい。（送料込み、実費2千円）

大阪府枚方市長尾東町1-46-1
大槻明子
☎0720-59-1060

平成7年度登録状況

種別		7年度 チーム数	7年度 人数	前年増減 チーム数	前年増減 人数
一般L	男	16	278	0	△17
	女	12	213	0	△9
	計	28	491	0	△26
一般A	男	362	5379	△21	△581
	女	103	1493	0	△157
	計	465	6872	△21	△738
一般B	男	86	1216	△33	△443
	女	7	89	△8	△112
	計	93	1305	△41	△555
学生	男	229	3882	3	△216
	女	96	1415	1	△91
	計	325	5297	4	△307
高専	男	35	668	2	58
	女	2	19	1	10
	計	37	687	3	68
高校	男	1425	27218	△36	△1569
	女	1066	17415	△19	△898
	計	2491	44633	△55	△2467
リージョナル	男	198	2847	198	2847
	女	37	502	37	502
	計	235	3349	235	3349
中学校	男	588	14414	△45	△1661
	女	444	9255	△42	△953
	混	0	0	△4	△81
	計	1032	23669	△91	△2695
小学校	男	43	1069	△2	299
	女	39	679	1	95
	混	13	460	0	△7
	計	95	2208	△1	387
合計	男	2982	56971	66	△1283
	女	1806	31080	△29	△1613
	混	13	460	△4	△88
	計	4801	88511	33	△2984

指導委員会より

平成7年度 公認C級コーチ講習会修了者

平成7年度公認C級ハンドボールコーチ養成講習会の修了者が、8月10日付で日本体育協会より発表になった。

岩本　明（浦和学院高校）埼玉
黒沢貞夫（旭高校）　神奈川
菊田政行（水海道一高）茨城
岡田裕之（水海道二高）茨城
阿部　伸（不来方高校）岩手
泉水孝浩（松戸秋山高）千葉
毛利尊志（今治南高校）愛媛
谷口友一（三本松高校）香川
山根安彦（岩陽高校）　山口

中・日・韓ジュニア交流競技会

3回目となった日本・中国・韓国のジュニア交流競技会が8月25日から30日まで中国の唐山で行なわれた。

男子は横浜商工高校が出場し、中国の安徽体育运动学校、韓国の静石航空工業高校と対戦。中国には13－17と敗れ、韓国にも18－21と敗れた。また、女子は名古屋短大付属高校が出場し、中国の北京先衣坛体校、韓国の微慶女高校も対戦した。結果は中国に20－39、韓国には18－40だった。

平成7年度登録について

登録の種別を日本リーグ加盟チームの「特別」から「一般L」に名称を変更。また今まで未登録のチームに対して登録推進のため「リージョナル」を新設し、登録人口の把握にご協力いただいた。

登録規定改正以前は3チームまでできた登録が、本年度より1人1チームの登録となり、人員では前年に比べて減少、チーム数では増加した。

海外から
コーチ及びプレイヤーの紹介

昨年から今年にかけて、海外から日本でコーチ及びプレーをしたいとの問い合わせが日本協会宛に数多く入ってきている。

すでに日本では日本リーグのチームに韓国、中国、ユーゴ等のプレイヤーが元気にプレーをしているが、特に今年になって日本での就職、プレーの希望が多くなっている。興味のあるチームは日本協会までお問い合わせ下さい。

◆コーチ志望
MEDIC DUSAN
国籍　ユーゴ
年令　32才
選手として15年、プロコーチとして8年。ユーゴのトップチーム（CRVENA ZVENDA）のコーチの経歴。

◆コーチ志望
DRICH Hocine
国籍　アルジェリア
学士。91～94年の3年間、スポーツの理論と実技を学習。ハンドボールのスペシャリストとしてナショナルスポーツ研究所で学び卒業。

◆プレイヤー志望
ラザフィントサラマ・ステファン
国籍　フランス
年令　19才
ポジション　左サイド、センター
右利き、180cm、72kg
競技レベル　フランスチャンピオン の「エスポイアー」レベル
プレイしていたカテゴリー　シニア

◆コーチ志望
Bo Johansson
国籍　スウェーデン
年令　42才
1980年代初めからのトップレベルでのコーチ。最近の4年間はストックホルムで「THE POLICE」という素晴らしいチームでコーチをしていた。2,1,1位の成績を残した後、最も上のリーグ・エリートセリーンに1994年の春に昇格した。4年間の間にポリスを20位から6位に昇進させた。
ポリスの女子チームの9mプレイヤーのイバ・ロゼンという26才の女性と一緒に生活しています。女子チームも最も上のリーグに所属しています。94年の秋、彼女は76得点をあげスウェーデンリーグの12位でした。5回、マッチプレイヤー賞を頂いています。

◆プレイヤーとコーチ
ZIVOVIC Boban
年令　34才
国籍　ユーゴスラビア
身長190cm、体重90kg
ポジション　左45、センター
コーチの資格を持っていて、セルビア語、フランス語、英語を少々話せます。ルーニック、エレゾビッチ、ベリック等、よく知られているプレイヤーと一緒にプレーしていた。私の身体条件は38～40才までプレーしても大丈夫です。それから後はコーチを続けられます。

◆コーチ志望
Rolf Lang
国籍　ドイツ
ドイツでのA級ライセンスを持っていて、日本のトップチームのトレーニングとマネージメントに興味を持っている

◆コーチ志望
Christian Cijan
国籍　オーストリア
年令　29才

◆コーチ志望
Pawel Strijny
国籍　カナダ、独身

女子ソウル・カップで韓国優勝

企画・広報委員
飯田 信行

今年の暑かった夏の終わりを告げる頃、韓国ソウルでは女の熱い戦いが繰り広げられた。

オリンピック史上初の3連覇をかけて、韓国オリンピック委員会によるソウル・カップが開催された（1995年8月30日〜9月3日：蚕室学生体育館）。韓国はもちろん、世界のトップクラスに位置するデンマーク、ロシア、それにフランス、中国、アメリカの6ケ国によるリーグ戦で行われた。

さすがに韓国は完成度も高く、開幕戦の対フランス戦では大観衆を前に圧倒的な強さを見せつけ、第3日、力強さでは大会随一のロシア戦ではスピード、テクニックに勝る韓国がOh Sung-ok、Kim Rangなどの活躍で3戦全勝で首位に立ち、最終日の決勝カードの対デンマーク戦では、先のアメリカ・プレ五輪での引き分けを吹っ飛ばすLim O-Kyeongの華麗なテクニックなどで危なく勝ち、優勝を飾った。

95年ソウル・カップ競技日程及び結果

日付	時間	内容
8月30日(水)	13:40〜14:10	開幕セレモニー
	14:10〜14:40	開会式
	15:00〜16:10	韓国36−20フランス
	16:30〜17:40	米国37−33中国
	18:00〜19:00	デンマーク23−30ロシア
8月31日(木)	13:00〜14:10	ロシア23−24フランス
	14:30〜15:40	デンマーク36−21中国
	16:00〜17:10	韓国30−23米国
9月1日(金)	13:00〜14:00	デンマーク25−18米国
	14:30〜15:40	中国26−30フランス
	16:00〜17:10	韓国33−27ロシア
9月2日(土)	13:30〜14:40	韓国39−22中国
		米国21−32ロシア
		デンマーク35−22フランス
9月3日(日)	12:20〜13:30	ロシア35−33中国
	13:50〜15:00	韓国29−23デンマーク
	15:20〜16:30	米国20−23フランス
	17:00	閉会式
	18:30〜	レセプション

【順位】

順位	国	成績
1位	韓国	(5勝0敗)
2位	デンマーク	(3勝2敗)
3位	ロシア	(3勝2敗)
4位	フランス	(3勝2敗)
5位	米国	(1勝4敗)
6位	中国	(0勝5敗)

※2〜4位は得失点差による

【表彰】

MVP　OH Sung-Ok(韓国)
得点王　ZHAI Chao(中国)
ベスト7
- Malaxhova Natalia(ロシア)
- Deriouguina Natalia(ロシア)
- Anette Hoffmann(デンマーク)
- Janne Kolling(デンマーク)
- Moon Hyang-Ja(韓国)
- Oh Sung-Ok(韓国)
- Lim O-Kyeong(韓国) *

*印はイズミ所属の林　五卿

今回のソウル・カップでは次のオリンピックへの意欲をまざまざと見せつけた韓国をはじめ、12月に開催予定の第12回世界女子ハンドボール選手権大会（オーストリア・ハンガリー共同開催：1995年12月5日〜12月17日）への足かがりとして各国はとらえ、3ケ月後へ照準をしぼっているようだ。

またコートの外では、訪れた各国チームの人たちとの出会い、再会も楽しみの一つである。日本からは女子強化コーチ陣、樫塚監督、高野コーチ、韓国は名将チョン氏をはじめ各国監督、コーチ陣の顔ぶれが集まり、これらの人達とのフレンドシップに接する時、ハンドボールは「ファミリー」なのだと痛感させられた。

戦火の絶えない時世だが、スポーツを通し、世界の平和を祈りたい。

最後に、今回ソウル・カップにおいては柳在忠氏（慶熙大学校教授・ソウル五輪銀メダル監督）をはじめ韓国協会の方々には大変親切にして頂き、お世話になった。

いけるぜハンドボール!!

日本リーグ、間もなく開幕

日本リーグ運営委員会広報担当　安藤　文人

95年10月22日（日）、東京体育館を皮切りに全国各地で熱戦が繰り広げられる日本リーグも、今年度で第20回の記念大会を迎えることとなりました。これも多くのファンの皆様と、関係各位のご支援の賜物と、心より御礼申し上げます。

さて、第20回日本リーグは10月22日から来年3月17日まで、2回総当りのリーグ戦のあと、男女とも上位3チームによるプレーオフ（3月28日～30日・東京）で優勝を競います。

前期（年内）は男子のみ。前回、悲願の初優勝をとげた中村荷役が今回もVレースの中心になりそう。

中村荷役は、趙、呉、朴の韓国人トリオに、大型シューター木浪の台頭も著しい。また、GK井上も安定感を増し、連覇への確かな手応えを感じさせる。

これを追う前回2位の大同特殊鋼は、リーグ戦1位ながらプレーオフで逆転負けした悔しさをバネに高村監督、末岡キャプテンを中心にOF・DFとがまとまりを見せ、V奪取へと雪辱を期している。

キャプテン堀田を中心に試合巧者揃いの日新製鋼（前回3位）、前回4位に甘んじた湧永製薬もベテラン、中堅の円熟にフレッシュな面をプラスして優勝を狙う。湧永のGK井藤の復帰も話題の一つ。

岩本を擁する三陽商会、復活を期す本田技研もうまく波にのり、自分達の展開に持ち込めば大躍進、大爆発の可能性も。

台風の目となりそうなのは大崎電気か。ここ数年の積極的な補強で、選手層も厚みを増し、首藤、魚住が健在であれば一気に優勝も狙える布陣となった。

一部初登場の日本電装は、全員一丸となってまずは1勝が目標。

世界選手権出場のため、女子は来年1月6日からの短期集中開催。一昨年、圧倒的な強さで復活Vを遂げた大崎電気を中心とした優勝争いとなりそうだ。

昨年の優勝の立て役者・朴、本間が抜けたものの、歴代通算得点1位の尹がカムバック。広瀬、白を中心に大型新人・川村を加えて、連覇を狙う布陣に抜かりはない。

前回2位のオムロンも、新人・田村がチームに溶け込み、得点力がアップ。キャプテン西村を中心にした堅いDFは安定感抜群でV奪回を狙う。

新キャプテン上出を中心にリーグ初優勝を狙う北国銀行は、DFが安定すれば得意の速攻で初優勝へ前進あるのみ。

最も上位進出の可能性が高いのが、日立栃木か。前回はあと一歩でプレーオフ進出を逃したものの、キャプテン嶋野を核にチーム一丸となってプレーオフ進出、初優勝を掴みたい。

シャトレーゼ、大和銀行、ブラザー工業もプレーオフ進出、優勝へ虎視眈々。いずれもDFの出来がカギを握りそうだ。

一部最速初登場のイズミは、

昨年度のメンバーに一部経験者2名を加え、上位チームも侮れない布陣となり、台風の目となるか。

二部男子は本田技研熊本、トヨタ車体を中心に激しい昇格争いが展開されそう。これに4年ぶりに復帰を目指すトヨタ自動車、初の一部昇格に意欲的な北陸電力がからんできそう。

女子は巧者土師を中心にまとまるジャスコが一番手。国体を控え大幅に補強してきたムネカタ、フレッシュなソニー国分、新星立山アルミも侮れない。

今年度の日本リーグはホーム&アウェイ方式の実施による地域密着化への第一歩となるシーズンとすべく努力してまいります。一部、二部、男子、女子とも地元における声援が各チームの大きな武器となってくると思います。いろいろな新しい挑戦を行っている日本リーグ。ぜひ会場に足を運んで選手達を応援して下さい。

おみやげは感動です。

ハンドボールって結構「いけるぜ！」

第20回日本ハンドボールリーグ日程表

前期

週	日程	開催地	会場	時間	一部男子	時間	一部女子	時間	二部男子	時間	二部女子
	10／22	東京	東京体育館	16:30	中村－湧永			13:30	三景－北電		
		東京	東京体育館	15:00	三陽－日新						
	10／25	新座	新座市民総合体育館	18:30	大崎－本田						
1	10／27	名古屋	中村SC	18:00	大同－電装						
		刈谷	豊田自動織機体育文化センター					18:45	織機－車体		
	10／28	西宮	大阪ガス今津体育館					14:00	大ガス－トヨタ		
	10／29	本渡	本渡市立稜南中学校体育館					11:00	熊本－トクヤマ		
	11／3	鈴鹿	本田技研鈴鹿健保体育館	18:30	本田－中村						
		名古屋	露橋SC	13:30	大同－大崎						
		甲田町	湧永満之記念体育館	12:00	日新－電装						
2		甲田町	湧永満之記念体育館	13:30	湧永－三陽						
		知立	知立市福祉体育館					17:30	トヨタ－三景		
		知立	知立市福祉体育館					19:00	車体－トクヤマ		
	11／4	西宮	大阪ガス今津体育館					14:00	大ガス－北電		
	11／5	志合町	志合町総合センター「ヴィーブル」					13:30	熊本－織機		
	11／8	岡崎	岡崎市体育館	18:30	電装－三陽						
	11／11	鈴鹿	鈴鹿市体育館	15:30	本田－大同						
		広島	東区SC	15:00	日新－中村						
3		広島	東区SC	16:30	湧永－大崎						
		三好町	三好公園総合体育館					13:30	車体－大ガス		
		三好町	三好公園総合体育館					15:00	トヨタ－織機		
		松岡町	北陸電力福井体育館					11:00	北電－トクヤマ		
	11／12	水俣	水俣市総合体育館					11:00	熊本－三景		
	11／14	東京	東京体育館	18:00	三陽－本田						
		東京	東京体育館	19:30	中村－大同						
	11／15	東京	東京体育館	19:30	中村－三陽			18:00	三景－車体		
4	11／18	刈谷	刈谷市体育館	15:40	電装－大崎			14:15	織機－北電		
		西宮	大阪ガス今津体育館					14:00	大ガス－熊本		
	11／19	呉	日新製鋼呉製鉄所体育館	15:00	日新－湧永						
		徳山	徳山市総合SC					11:00	トクヤマ－トヨタ		
	11／24	志木	志木市民体育館	18:30	大崎－日新						
		鈴鹿	鈴鹿市体育館	18:30	本田－電装						
		知立	知立市福祉体育館					18:30	車体－トヨタ		
5	11／25	名古屋	中村SC	15:00	大同－湧永						
		西宮	大阪ガス今津体育館					14:00	大ガス－織機		
		宇土	宇土市体育館					13:30	熊本－北電		
	11／26	徳山	徳山市総合SC					11:00	トクヤマ－三景		
	11／29	徳山	徳山市総合SC					18:30	トクヤマ－大ガス		
	12／2	府中	府中市立総合体育館	15:00	三陽－大崎						
		豊田	豊田市体育館	16:00	電装－中村			13:20	織機－三景		
6		豊田	豊田市体育館					14:40	トヨタ－熊本		
		松岡町	北陸電力福井体育館					14:00	北電－車体		
	12／3	広島	安佐北区SC	15:00	湧永－本田						
		広島	安佐北区SC	16:30	日新－大同						
	12／8	志木	志木市民体育館	18:30	大崎－中村			17:10	三景－大ガス		
	12／9	鈴鹿	鈴鹿市体育館	15:30	本田－日新						
		甲田町	湧永満之記念体育館	14:00	湧永－電装						
7		知立	知立市福祉体育館					13:00	織機－トクヤマ		
		知立	知立市福祉体育館					14:30	車体－熊本		
		松岡町	北陸電力福井体育館					11:00	北電－トヨタ		
	12／10	名古屋	北陸電力福井体育館	13:30	大同－三陽						

日本リーグ・オーナー会議開催

熊本開催に向けて 分科会の活動も本格化

平成７年度第１回日本リーグ・オーナー会議が８月29日、東京・新宿区の日本青年館で開催された。

日本リーグ・オーナー会議は、斉藤英四郎前日本ハンドボール協会会長が世界選手権招致にあたり日本ハンドボール界の飛躍を図ろうと日本リーグ・オーナーに呼び掛けて、平成５年11月16日に第１回会議が開催された。第１回会議で会長直属の支援組織として特別委員会が承認された。平成６年３月に具体的内容の提案をし、平成６年４月21日に第２回オーナー会議が開催された。特別委員会は米倉功副会長（現会長）が運営委員会の長となり、その下部組織として世界選手権推進、企画・広報、選手強化の分科会という構成となった。世界選手権推進のとりまとめ役として渡邊佳英副会長、企画・広報は立石孝雄副会長、選手強化に故湧永儀助全日本実連会長（当時）があたることとなった。その後、選手強化は草井由博現全日本実連会長が着任した。特別委員会の会計は日本協会会計とは別途管理するために財務部を設け、部長に渡邊佳英副会長が就任した。平成７年２月３日、第３回オーナー会議が開催され、日本リーグ特別登録金として選手強化、世界選手権推進に使用するための資金支出を承認した。

平成７年度日本リーグ年間登録金は一般Ｌ登録金、日本リーグ分担金、特別登録金を含み、男子１部１０００万円・８チーム・小計８０００万円、女子１部４５０万円・８チーム・小計３６００万円、男女２部２８０万円・12チーム・小計３３６０万円、総合計１億４９６０万円となった。なお、特別登録金の内訳として、選手強化に６０００万円、世界選手権に推進３７４０万円とすることが承認された。

このような経緯をふまえ日本協会として日本リーグ加盟チーム・オーナーに対して年間登録金のご協力のお礼と、世界選手権関連に関してご意見を賜る機会として、第４回目の開催となった。

オーナー会議開催に先立ち、３分科会が開催された。３分科会の検討、オーナー会議提案事項は次の通りである。

■選手強化分科会

１　特別委員会分科会（選手強化）規程の検討と提案の承認

２　選手強化に対する行事予定の検討と提案の承認

３　特別登録金選手強化３年分１億８０００万円の使い方の検討と提案の承認
世界選手権熊本成功のためには、例え全日本選手が国内大会に出場不可となっても、その方針を支持していくとした。

■企画・広報分科会

１　裾野を広げるために地域、子どもにハンドボールの楽しさを伝えていく。

２　活字、ラジオ、ＴＶなど、報道の機会を増やすために配信の努力をする。

３　オリンピック、世界選手権など大きな大会に焦点を絞った広報を強化する。

４　大衆化のために、イメージ的拡大を図る。
日本協会が予算を多く持ち、長期的な施策とタイムリーな企画を的確に推進していくことが求められる。

■世界選手権推進分科会

１　マスコット・キャラクターの決定に至る経過説明。

２　ニュースレター発行の説明（年４回程度発行）。

３　今後の活動。12月女子の世界選手権大会（ハンガリー・オーストラリア）の運営等を視察、また熊本大会のＰＲ。

４　試合時間はヨーロッパのＴＶ放映に合わせてほしい（ＩＨＦの意向）。

５　開催地について

6 96プレ大会を企画している。

■財務部

1 特別登録金入金状況の報告

①各チーム拠出金額

②登録金の管理状況

2 特別登録金の今後の入出金管理

①支出については、都度「事業実施計画書」を強化部より提出させ、事務局にて初期計画並びに支出内容をチェックの上、財務担当理事、専務理事の承認を得る。

②日本協会は、定期的（最低年2回程度）または必要に応じ、日本ハンドボール協会特別委員会財務部へ報告する。

③日本ハンドボール協会特別委員会財務部は、運営委員会へ執行状況を報告、承認を受ける。

分科会の検討事項の報告、提案の後、質疑応答があり、そのあと全案件が了承された。

オーナー会議出席者　　（チームイロハ順）

会社	役職	氏名
日本電装㈱	電子事業部部長	伊藤　重彦氏
日新製鋼㈱	常務取締役	小林　能治氏
	ハンドボール部監督	西山　清氏
北陸電力㈱	ハンドボール部部長代行	中村　勝司氏
本田技研㈱鈴鹿製作所	ハンドボール部部長	石井　勝氏
本田技研㈱熊本製作所	生産技術室主幹	高橋　惣次氏
トヨタ自動車㈱	中部航空調査会東京事業所所長	加藤　広樹氏
トヨタ車体㈱	営業部課長	加藤　務氏
㈱トクヤマ	専務取締役	吉岡　隆氏
オムロン㈱	参与	鈴木　義紀氏
大崎電気工業㈱	代表取締役社長	渡邊　佳英氏
大阪ガス㈱	ハンドボール部副部長	森　集氏
湧永製薬㈱	代表取締役社長	草井　由博氏
㈱大和銀行	常務取締役	勝田　泰久氏
大同特殊鋼㈱	専務取締役	禰津　行雄氏
立山アルミニュム工業㈱	スポーツ推進室室長	宮崎　恒氏
㈱中村荷役	取締役社長	中村　剛喜氏
㈱三陽商会	ハンドボール部監督	田口　長雄氏
ジャスコ㈱	秘書室長	茂呂　正行氏
㈱日立製作所	総務部長	永野　顕隆氏
日本ハンドボール協会	渡邊副会長・中澤専務理事・江成・木野・殿水・井・大西・大塚・野田・山下・竹野	

第17回東日本学生選手権大会

男子 日体大が4回目、女子 筑波大が3回目の優勝

平成7年度の東日本学生選手権大会は8月17日から21日までの5日間にわたり北海道、東北、北信越、関東の各学連代表の男子32大学、女子16大学の合計48大学が参加し、予選リーグ・トーナメント方式によって函館市民体育館、函館大学及び函館有斗高校体育館にておのおの熱戦が展開されたが、男子は日体大が2年ぶり4回目、女子は筑波大が12年ぶり3回目の優勝を飾った。

男子決勝は日体大が国武大を34－21

男子は予選リーグで波乱があった。C組第一シードの筑波大が、今春の入替戦で一部に昇格した国武大にペース負けを喫した。また、同じく一部に昇格した好調法政大が早稲田にどのように挑むか、F組の実力拮抗の函館大ー東海大、G組の東北1位の仙台大と春季不振の国士館戦が注目されたが、早稲田は阿部（多摩高）の好リードからの多彩な攻めとGK大原（北陸高）の好守で法政大を下した。函館大は終了7秒前に同点ゴールで引分け、得失点差で辛うじて決勝トーナメント進出と全日本学生選手権の出場権を獲得した。国士館は、エース野村（96世界学生候補・大分電波）を怪我で欠いたが、芹沢（浦和学院）等の活躍で安定した試合運びを見せて勝ち上がった。

決勝トーナメントは、日体大が辻（学法石川）、茅場（笠間高）、森山（熊本市商）、笹浪（金沢市工）の94世界学生代表組に奥秋（東根工）と左腕田中（伊奈高）を揃えて何処からでも得点出来るチーム力を発揮し、国士館、国武大に圧勝し優勝した。

予選リーグで筑波大を破り勢いに乗った国武大が、奥山（二松学舎沼南）の好リードで東（金沢市工）、佐藤（不来方）を使って、怪我で大原・武藤（盛岡一高）を欠きながら須藤（浦和学院・96世界学生候補）が、新人の高田（香川中央）、所（香川中央）を使って攻める早稲田に、残り3秒、西村がミドルを決めて振り切り、初めての決勝進出、2位を確保した。3位決定戦は、中央大・茂木（富岡高）がチームをよくまとめ、早稲田に逆転勝ちして10年ぶりに3位を獲得した。早稲田は故障者続出で4位に終った。

女子は予選リーグでD組第1シードの日女体大が茨城大に敗れる波乱があり、第1回大会から日体大、東女体大、筑波大、日女体大で占められて来た4強の座が、茨城大の健闘によって崩された。

4年ぶりに日体大が王座に

茨城大は鈴木（水海道二高）のゲームメイクで、松村（盛岡二高）、木村（竜ケ崎一高）を使いじっくりと攻め、前半を11ー7で折り返し、後半の日女体大の追い上げを交わし初の決勝トーナメント進出と共にインカレ出場権を勝ち取った。

決勝トーナメントは、日体大ー茨城大、筑波大ー東女体大の対戦となったが、健闘した茨城大もGK安田（郡山女高・94世界学生代表）の堅守をバックに早い攻めを見せる日体大に敗れ再度の波乱はなかった。筑波大ー東女体大は、梶田（名短大付・96世界学生代表候補）、児島（名短大付・同）、小島（文大杉並・同）、山口（栃木女・同）がコンスタントに加点、9ー5と東女体大が前半をリードしたが、後半に入り筑波大が稲次（宣真高・94世界学生代表）の活躍でジリジリと追い上げ、動きの鈍った東女体大を捕らえ、春季リーグで8点差をひっくり返した勢いをここでも見せて逆転勝ちした。3位決定戦は東女体大がコンスタントに得点を重ね、粘る茨城大を突き放し3位となった。

決勝戦は8年続いた日体大ー

東女体大から、日体大―筑波大の対戦となった。前半は一進一退で11―11で折り返したが、後半11分24秒の岡野（水海道二）の得点から筑波大が一気に走り、稲次、小谷内（水海道二・94世界学生代表）が連続加点し、久し振りに東日本学生を手中にした。

予選リーグの結果、決勝トーナメントの結果は別掲の通り。なお、優秀選手には次の選手が選ばれた。

●男子

CP 辻　昇一（日体大）
CP 茅場　清（日体大）
CP 笹浪　重俊（日体大）
CP 奥山　成道（国武大）
CP 森山　透（日体大）
CP 茂木　邦彰（中央大）
CP 阿部　直人（早稲田）

●女子

GK 安田真由美（日体大）
CP 稲次　彩（筑波大）
CP 阿部真澄美（筑波大）
CP 松井　玲子（筑波大）
CP 村上　美香（日体大）
CP 梶田　華恵（東女体）
CP 松村　和代（茨城大）

女子決勝は筑波大が日体大を26－21

久し振りの優勝となった筑波大

■男子決勝トーナメント

1回戦	スコア	準決勝	決勝
日体大	31	35	34
国士館	26		
函館大	26		
中央大	30	21	
国武大	24	28	21
日本大	17		
順天堂	22		
早稲田	29	27	

優勝：日本体育大学

3位決定戦

中央大 28 － 27 早稲田 → 中央大学

■女子決勝トーナメント

1回戦	スコア	決勝
日体大	31	21
茨城大	17	
筑波大	20	26
東女体	18	

優勝：筑波大学

3位決定戦

東女体 24 － 15 茨城大 → 東女体大

■男子予選リーグ

【A組】①日本体育大学②拓殖大学③東北学院大学④信州大学
【B組】①早稲田大学②法政大学③福島大学④長野大学
【C組】①国際武道大学②筑波大学③東北福祉大学④北海道教育大学釧路
【D組】①中央大学②明治大学③小樽商科大学④新潟大学
【E組】①順天堂大学②北海道大学③金沢大学④東北大学
【F組】①函館大学②東海大学③専修大学④秋田大学
【G組】①国士館大学②仙台大学③札幌大学④東京理科大学
【H組】①日本大学②道都大学③神奈川大学④金沢工業大学

■女子予選リーグ

【A組】①日本体育大学②国士館大学③福島大学④仁愛女子短期大学
【B組】①東京女子体育大学②千葉明徳短期大学③北海道教育大学旭川④新潟大学
【C組】①筑波大学②東北福祉大学③東海大学④聖徳大学
【D組】①茨城大学②日本女子体育大学③金沢大学④東京学芸大学

平成7年度西日本学生選手権大会

男子 大阪体育大学が制覇！
女子 武庫川女子大学

平成7年度男子34回・女子25回西日本学生選手権大会は、8月15日より19日までの5日間にわたり、名古屋市の琵琶島スポーツセンター、天白スポーツセンター、第二総合体育館を会場として、男子32大学、女子16大学が参加し、予選リーグ・決勝トーナメント方式によって争われたが、男子は大阪体育大学が6年連続通算20回目、女子は武庫川女子大学が4年連続通算14回目の優勝を飾った。

男子予選トーナメントは、B組でノーシードの愛知大学が灰田（小松明峰）その他の活躍で、またC組ではノーシードの立命館大学が全員ハンドボールで勝ち上がる波乱が見られたが、他は順当に勝ち上がった。

決勝トーナメントは、1回戦でGK日原（桜台）の好守で、東海学生春季優勝の中部大を破った名城大だったが準決勝で福岡大に敗れた。3位決定戦では名城大が大阪経済大を僅差で退け3位を確保した。

決勝戦は3年連続、大阪体育大と福岡大の同一カードとなった。GK濱口（境高・全日本学生候補）、上野（兵庫育英・94世界学生代表）、池辺（久工大付・97世界選手権候補・94世界学生代表）、荒木（境港工・全日本学生候補）、清水（桂・全日本学生候補）を擁する大体大に、坪根（久工大付・97世界選手権候補・94世界学生代表）、田中（久工大付・94世界学生代表）、木村（久工大付）を擁する福岡大との対戦は、期待にたがわず熱戦が展開されたが、池辺を軸にした守りでやや安定性で勝った大体大が主導権を握って勝利を収めた。

女子予選リーグa組で、関西春季リーグで優勝し、今大会でも優勝候補に上げられていた大体大が、予選リーグで敗退という波乱があった。中京女大は釣川（小松商）を中心に全員がよく動き、調子の出ない大体大に走り勝った。その他の各組は第一シードが順当に勝ち上がった。

決勝トーナメントは大体大を破って勝ち上がった中京女大が、小林（九州女子・94世界学生代表）、比嘉（具志川・元全日本）を擁する福岡大にどう挑むが注目されたが、福岡大に敗れた。昨年のインカレで台風の目となった福岡教育大として武庫川女大の対戦は、武庫川女大が大型GK中井（夙川学院・全日生候補・94世界学生代表）、杉原（添上）、琴野（華陵・全日本学生候補）などの活躍で、甲斐（大分雄城台）、森田（松橋）を中心として追い掛ける福岡教育大を振り切った。

3位決定戦は福岡教育大が前半は競ったが、後半はベースをつかみ、昨年に引き続き3位を獲得した。

決勝戦は武庫川女大と福岡大が3年振りの対戦となったが、前半は1点を争うシーソーゲームとなった。後半は、前半を1点差で折り返した武庫川女大が、うまくペースをつかみ、要所でポイントを重ね30—26で福岡大を破って優勝した。なお、優秀選手には次の選手が選ばれた。

●男子
GK 濱口 靖（大阪体育大）
CP 上野 修一（大阪体育大）
CP 荒木 誠司（大阪体育大）
CP 池辺 健二（大阪体育大）
CP 木村 和幸（福岡大）
CP 田中 慎一（福岡大）
CP 西村 耕二（名城大）

●女子
GK 中井 美世（武庫川女大）
CP 杉原 奈々（武庫川女大）
CP 琴野 由子（武庫川女大）
CP 小林 直美（福岡大）

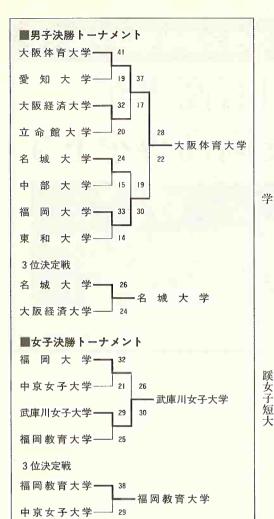
CP　比嘉　晴美（福岡大）
CP　甲斐万起子（福岡教育大）
CP　釣川　真美（中京女大）

■男子予選リーグ

【A組】①大阪体育大学②愛知教育大学③九州産業大学④愛媛大学

【B組】①愛知大学②沖縄国際大学③大阪教育大学④京都産業大学

【C組】①立命館大学②天理大学③熊本大学④名古屋大学

【D組】①大阪経済大学②南山大学③関西大学④松山大学

【E組】①中部大学②同志社大学③関西学院大学④神戸大学

【F組】①名城大学②関西外国語大学③福岡教育大学④広島大学

【G組】①東和大学②近畿大学③愛知学院大学④広島経済大学

【H組】①福岡大学②桃山学院大学③中京大学④山口大学

■女子予選リーグ

【a組】①中京女子大学②大阪体育大学③天理大学④広島大学

【b組】①福岡大学②大阪教育大学③名古屋文理短大④岡山県立大学

【c組】①福岡教育大学②関西外国語大学③豊田短大④関西女子短大

【d組】①武庫川女子大学②中京大学③九州女子大学④大阪成蹊女子短大

第22回全国高専選手権大会

明石高専が長岡高専を下す

全国高専体協ハンドボール専門部委員長
古屋　正俊

　平成７年度全国高等専門学校体育大会・第22回全国高等専門学校ハンドボール選手権大会は、８月３、４日の２日間、大阪府立体育館を会場に、全国各地の地区予選を勝ち抜いた12校を集めて開催された。大会は３校毎の予選リーグと、予選リーグ１位校による決勝トーナメント方式。開会式は大阪府立高専の吹奏楽部によるファンファーレと行進曲でスタートし、大阪府立高専ハンド部の林英樹主将が力強く選手宣誓を行った。外は連日の猛暑であったが、広々とした館内は冷房が心地よく、参加選手にとって最高の条件での大会であった。

　試合は、昨年の優勝校で連覇を目指す北陸地区代表の石川高専が、初日の予選リーグで敗退する波乱の幕開けとなった。今年度の大会は、いずれの予選リーグも各校の持ち味を生かした、実力の接近した好ゲームが展開され、館内を盛り上げた。大会を制覇したのは近畿地区代表の明石高専。攻守に安定した力を発揮し、２年ぶり通算５度目の優勝。準優勝は関東信越地区代表の長岡高専。続く３位は、いずれも中国地区代表の米子高専と徳山高専であった。

　準決勝の長岡高専と米子高専の一戦は、前半立ち上がりは両チームともミスが多く、緊張ぎみであった。10分過ぎから１点を争う好ゲームが展開され、12－12の同点で前半を終了。後半は、両チームのキーパーの好守で序盤は互いに得点が動かない展開。10分過ぎから、長岡は塩原のロング、堀井のサイド、一方の米子も浜田のロング、石原のサイドで応戦し、大接戦となった。残り５分を切り、長岡は塩原の連続得点で着実に加点し、追いすがる米子を振り切った。

　もう一方の明石高専と徳山高専の準決勝は、立ち上がりは両チームとも互角の戦い。５分過ぎ、徳山の退場をきっかけに、明石は芝山、江草らの活躍で得点を重ねリード。徳山も財間のロングで追い上げるが、明石のキーパー井原の好守に阻まれ、13－７で前半を終了。後半の19分頃までは、徳山のエース財間の活躍で互角の戦いとなった。しかし、地力に勝る明石は、木内のサイド等で徐々に点差を広げ、控え選手全員を使った楽勝ムードで準決勝を終了。

　決勝戦は、予選リーグで昨年度の優勝校・石川高専を破り、初優勝目指す長岡高専と、４年連続決勝進出の強豪・明石高専との対戦となった。開始すぐに明石はポストシュートで得点し、その後も速攻やサイドで加点し、前半は明石のペースで試合が進む。長岡は、明石のキーパー井原の好守に苦しみ、攻めのリズムが作れないまま７点差を残し前半を終了。後半は開始早々から長岡がエース・塩原のロングによる連続得点で反撃し、互角の戦いとなる。しかし、明石は両サイドからの得点が小気味よく決まり、前半のリードを生かし、終始余裕のある試合運びで22－14で優勝した。

　昨年度と同様に、第22回大会の優秀選手が７名選出され、閉会式で表彰された。今大会の優秀選手に選ばれたのは、GK・井原陽生、CP・江草尚之、芝山洋典（以上、明石高専）、塩原健、堀井大作（以上、長岡高専）、浜田直基（米子高専）、財間治彦（徳山高専）の７名であった。

　今年度の高専大会は、１月の阪神大震災により競技種目によっては開催地変更を余儀なくされたが、ハンドにおいては各方面のご努力の結果、予定通りの開催となった。大変厳しい状況の中で、大会を主管していただいた大阪協会、大阪府立高専の関係者の皆様にあらためて御礼申し上げます。また震災でお亡くなりになられた方のご冥福と、被災された皆様に対し、心からお見舞い申し上げ、第22回全国高専ハンドボール大会の報告といたします。

●大会結果

▼予選リーグ

A　長岡高専29－22石川高専
　石川高専40－15奈良高専
　長岡高専28－24奈良高専

B　大阪府立18－16岐阜高専
　米子高専22－18大阪府立
　米子高専28－12岐阜高専

C　一関高専17－14八代高専
　徳山高専25－15八代高専
　徳山高専23－17一関高専

D　明石高専20－18豊田高専
　明石高専35－18有明高専
　豊田高専25－23有明高専

▼準決勝

長岡高専23－21米子高専
明石高専27－14徳山高専

▼決勝

明石高専22－13長岡高専

平成7年度高等学校総合体育大会

男子・横浜商工、女子・福井商業が優勝

平成7年度全国高校総体ハンドボール競技は8月2日から7日まで倉敷市で開催され、男子は横浜商工が金沢市立工業を下して優勝、女子は県立福井商業が名古屋短大付属を下して優勝した。

●男子決勝

立ち上がりから気迫あふれるプレーを展開する横浜商工は、相手のミスを速攻で着実に結び付ける。かたや金沢市工も8番松本、9番奥村のポストプレーで応戦するが、横浜商工の堅い守りを崩せない。金沢市工は全国大会初の決勝進出という堅さからか、ノーマークシュートをミスするなどチャンスを自ら逃す場面も多く見られ、8―2と大差をつけられ前半を終了。

後半に入っても横浜商工はGK宇野の好守もあって金沢市工の追撃を許さず、会心の試合運びで優勝を決めた。

点差は開いたが最後まで全力で戦った金沢市工はとてもさわやかなチームだった。5度目の挑戦で春夏連覇を成し遂げた横浜商工、渡辺監督の右手人差し指を高々とあげての胴上げが印象的であった。

決勝は横浜商工の圧勝だった

●女子決勝

女子決勝は春の女王・名古屋短大付属、初優勝を狙う福井商業という優勝候補同士の対戦となった。両チームとも早く主導権を握ろうと果敢に速攻をしかける立ち上がりとなった。まず、名短付エース菅谷が速攻から先制、すぐさま福井商も速攻からキャプテン酒井がカットイン。

名短付を破って喜ぶ福井商業

がっぷり四つに組んだ立ち上がりである。両チームとも積極的に速攻をしかけるが、互いに戻りも早く、なかなか主導権が奪えない。13分を過ぎたあたりから名短付のフローター陣の動きが鈍くなり、その間隙をついて福井商が一気に5点連取。更に速攻、コンビネーションプレーで3連打を浴びせかけ、12―6と福井商が大きく6点リードで前半を折り返した。

後半に入っても名短付はなかなか差を縮めることが出来ない。しかし、後半10分頃から今度は福井商の足が止まり、約8分間沈黙。すかさず名短付は藤田の3連打で女王の意地をみせる。追い上げる名短付。初優勝を狙う福井商、23分過ぎには大ピンチ。2人退場、スコアは16―14。残り50秒には名短付キャプテン久米が、サイドから決め1点差に。福井商、ポストシュートをナイスキープした名短付、一気に速攻へ。再び久米がノーマークで飛び込む。誰もが延長かと思った次の瞬間、この日好調の福井商GK中西がこれをナイスキープ。福井商が歓喜の中、初優勝を遂げた。両チームの健闘が光ったナイスゲームであった。

男子

優勝　横浜商工

横浜商工（神奈川）
岡崎城西（愛　知）
県立神埼（佐　賀）
北陸（福　井）
県立境港工業（鳥　取）
県立青森商業（青　森）
県立都城工業（宮　崎）
県立不来方（岩　手）
県立富雄（奈　良）
県立総社（岡　山）
県立吉井（群　馬）
県立三好農林（徳　島）
興南（沖　縄）
学校法人石川（福　島）
県立四日市工業（三　重）
県立三条工業（新　潟）
県立紀北農芸（和歌山）
浦和学院（埼　玉）
県立下関中央工業（山　口）
県立松山商業（愛　媛）
熊本市立商業（熊　本）
二松学舎大附沼南（千　葉）
育英（兵　庫）
県立氷見（富　山）

金沢市立工業（石　川）
明星（東　京）
県立香川中央（香　川）
市立仙台商業（宮　城）
県立富士（静　岡）
大分電波（大　分）
県立山形中央（山　形）
函館大学付属有斗（北海道）
久留米工大附属（福　岡）
県立江津（島　根）
府立北嵯峨（京　都）
國學院大学栃木（栃　木）
県立伊奈（茨　城）
県立野洲（滋　賀）
岐阜東（岐　阜）
県立東岡山工業（岡　山）
県立鹿児島工業（鹿児島）
土佐（高　知）
長崎日本大学（長　崎）
県立大曲（秋　田）
県上田（長　野）
駿台甲府（山　梨）
修道（広　島）
桃山学院（大　阪）

女子

優勝　県立福井商業

名古屋短大付属（愛　知）
県立高知南（高　知）
聖和女子学院（長　崎）
県立新潟江南（新　潟）
県立川崎北（神奈川）
県立浜田商業（島　根）
文化女子大付属杉並（東　京）
県立玉野光南（岡　山）
道立釧路湖陵（北海道）
宮崎第一（宮　崎）
県立彦根商業（滋　賀）
県立郡山女子（福　島）
県立今治北（愛　媛）
宣真（大　阪）
県立松橋（熊　本）
県立山梨（山　梨）
県立盛岡第二（岩　手）
県立岐阜商業（岐　阜）
府立洛北（京　都）
県立境（鳥　取）
県立大分鶴崎（大　分）
県立青森中央（青　森）
浦和実業学園（埼　玉）
県立小松商業（石　川）

県立岩国商業（山　口）
筑紫女学園（福　岡）
県立城北（徳　島）
県立大曲農業（秋　田）
県立栃木商業（栃　木）
初芝橋本（和歌山）
県松本蟻ケ崎（長　野）
県立添上（奈　良）
聖和学園（宮　城）
県立鹿児島南（鹿児島）
昭和学院（千　葉）
暁（三　重）
県立北村山（山　形）
県立水海道第二（茨　城）
夙川学院（兵　庫）
県立福井商業（福　井）
山陽女子（広　島）
佐女短大佐賀女子（佐　賀）
群馬女子短大附属（群　馬）
県立氷見（富　山）
県立高松商業（香　川）
真備（岡　山）
清水市立商業（静　岡）
県立浦添（沖　縄）

第24回全日本中学校大会

栄冠は男子大島中、女子大増中に輝く

女子の部で優勝した春日部市立大増中学校

中体連ハンドボール部
関東ブロック委員長　　平野　敬樹

今年度の大会は全国9ブロックの激しい予選を勝ち抜いた男女各19チームに開催県代表1チームを加えた各20チームで、埼玉県草加市において8月19日から22日までの4日間の会期で開催された。

例年の大会がそうであるように、今年度も猛暑の中の大会であったが、充分に環境整備のなされた会場で選手たちは精一杯のプレーを展開し、1回戦から目の離せない好試合が続出した。回戦が進むにつれ体力の消耗戦の様相も呈し、充分な練習量を背景に卓越したゲーム運びで見事優勝の栄冠を勝ち取ったのは男子・大島中学校（東京）、女子・大増中学校（埼玉）であった。

しかし、途中で惜しくも敗れていったチームにおいても、優勝チームに勝るとも劣らないチームも多く、選手たちもこの大会を良き経験として今後もハンドボーラーとしての道を歩んでくれればと願う。こんな中、ここ数年、選手たちの体力・技術・マナー面での進歩は著しく、これも指導者としての各先生方の指導のたまものと感謝する次第であり、ますますの中学生ハンドボールの発展に光明を見る思いでの大会でした。

一方、運営面においては、試合中における選手の安全管理面を主に、トラブル等の解決も含めた立合い人制度を採用したが、初の試みとしては研究の余地を多く含むものの、一定の成果を収めたようである。また、審判員も中体連から選出し運営しているが、選手たちのもてる技術を最大限引き出し、更にすばらしい試合を展開させるためにも、年々審判技術の向上は見られるもののますますの研修を深める必要があると思われる。

大会全般としては、よく整備された会場において選手たちも持てる力を充分に発揮し、良いマナーでの応援のもとに最後まで盛り上がり、「すばらしい」の印象が持てる大会であった。

最後に、関係団体・各位のご指導、ご協力に深く感謝し総評といたします。

ビクトリーランをする大島中学校

頂点に立った指導者二人に聞く

第24回全日本中学校大会は8月19日から22日まで埼玉県草加市の健康都市記念体育館で開かれ、全国各ブロックから19チームと開催地チームの計20チームが参加して熱い戦いが繰り広げられた。

優勝したのは男子が東京都江東区大島中学校、女子は埼玉県春日部市の大増中学校だった。

チームを優勝に導いた両校の指導者にインタビューした。

東京都江東区立 大島中学校コーチ 武末潤氏

S32年12月5日生。38才。ハンドボールの経験は中学校の時。高校、大学は剣道を学ぶ。

Q　勝因は？

A　卒業生のお蔭です。自分たちの負けた悔しさを後輩に伝えてくれた。そして率先して練習を手伝ってくれました。

Q　目標とモットー

A　我慢すること、先輩・後輩を大切にすること、努力することです。あくまで部活動が中心ですが、どうせやるなら全国大会の最後まで長くやろうと常に言ってきた。そのため、勝負に対しても厳しくやってきた。

Q　練習の重点は？

A　2対1が基本。2対1をいつも作れる様、工夫しろと言っている。2対1でも高い、低いがあることを口すっぱく言ってきた。

Q　今年4月に転任され、コーチになって…

A　いつも主将と連絡をとっていたので、心配していなかった。選手にはここで踏ん張ることが大切と言い聞かせた。

Q　剣道とハンドボールの共通点

A　剣道では間合が大切であるが、ハンドボールでも攻防の時にはこの間合が役に立つ。

Q　どんな練習を積んできたか

A　関東大会のあと、1日休んだあと朝10時から夕方5時まで練習を積んできた。

Q　父兄の熱心な応援について

A　有難いことであるが、一線をひいている。そのことも父兄に言っている。家でおいしいものを食べさせてあげてほしい。

埼玉県春日部市立 大増中学校監督 石塚廣一氏

S37年10月25日生。33才。

Q　勝因は？

A　相手のミスに助けられた。ポストとフローターとのコンビプレーがうまくいった。またプレーの切り返しがよかった。相手の攻撃を読んで防御を引きぎみにしたのもよかった。

Q　ここまでの苦労は？

A　土・日曜日はほとんど対外試合をこなしてきた。日頃、部員が少なく、男子生徒を相手に練習するが、うまくいかず困ったことも多かった。

Q　チームのモットーは？

A　「感謝の気持ちを忘れるな」です。自分自身が赴任して指導することになったが、ハンドボールも出来ず悩んだし、生徒にも先輩や回りの応援があることを口すっぱく言っている。

Q　プレーの面での指導は？

A　とにかく諦めないこと。そして粘りのプレーをしろといつも指導している。ハンドボールの面白さを知ってもらう意味でも、単なるフットワークだけはやらさない。コンビプレーが主体であり、必ずフットワークプラスコンビプレーという考え方だ。

Q　部員数は？

A　1～3年生合わせて14名。

Q　部の創設は？

A　平成3年度です。今年で5年目になります。

第8回全国小学生大会

男子 明野北少年団、女子 舞鶴スポ少が優勝

京都府ハンドボール協会理事長　吉田　博二

男女41チームが勢揃いした開会式

　本年で第8回目を迎える全国小学生ハンドボール大会が、7月29日から31日までの3日間、京都府田辺町において、男子22都府県23チーム、女子17府県18チーム、876名の役員・選手の参加を得て開催された。

　競技は猛暑の中、田辺中央体育館を中心に、同志社大学体育館（2面）、八幡市民体育館を使用し実施された。しかし、会場が分散するため、大会の盛り上がりに欠ける嫌いを心配するも、試合が始まると、毎年各チームに帯同される保護者の方々の熱心な応援により、各会場とも非常に盛り上がり、そのような心配も取り越し苦労に終わった。

　さて、参加チームは第7回大会と同数で、参加府県もほぼ固まってきたようであるが、今後も各府県協会関係者及び指導者のご協力により、1チームでも多くの参加を見、盛大な全国大会になることを期待するところです。

　試合では、ボールが小さくなったことにより、昨年に増してパスの確実性、シュートフェイント等の高技術のプレーが随所に見られ、予想にたがわず熱戦が展開された。

　男子予選リーグを勝ち抜き決勝トーナメントに進出したのは、宮城小学校スポーツクラブ（沖縄県）、花高クラブ（長崎県）、中央北H・C（熊本県）、窪スポーツ少年団ハンドボール部（富山県）、田辺東小学校（京都府）、日知屋東小ハンドボール部（宮崎県）、スポーツ少年団守谷クラブ（茨城県）、明野北ハンドボール少年団（大分県）の8チームで、その内5チームが九州勢で、九州のレベルの高さがうかがえる。

　男子の準決勝では、2人のエース（個人プレー）を持つ明野北ハンドボール少年団と、組織的な攻撃を得意とする地元田辺東小学校が対戦。共に一進一退の好ゲームを展開、延長戦で雌雄を決するという戦いであり、優勝戦において優劣をつけたい一戦であった。

　決勝戦は、宮城小学校と明野北の九州ブロック同士の戦いとなり、シュート力に勝る明野北の順当な優勝と言えよう。

　一方、女子においては、網津小ハンドボール部（熊本県）、舞鶴ハンドボールスポーツ少年団（大分県）、宮城小学校スポーツクラブ（沖縄県）、田辺東小学校（京都府）、日知屋東小ハンドボール部（宮崎県）、仏生寺スポーツ少年団（富山県）の6チームが決勝トーナメントに進出。6チームの内4チームが九州勢で、男子同様九州のレベルの高さを見せつけられた感がある。

　決勝戦は、3年連続決勝戦進出の仏生寺スポーツと今回初出場の舞鶴ハンドボールスポーツ少年団との対決となったが、2人のエース（1人は体格・技術共中学生級）を持つ舞鶴ハンドボールスポーツ少年団が、攻守において洗練されたプレーを随所に発揮し、危な気ない戦いを展開し初優勝を飾った。

3日間の熱戦で男女とも九州勢が優勝

　昨年に引き続き、九州勢が優勝杯を獲得。また、男女共同県が優勝するのは、第4回大会の沖縄県に続き、今回が2回目である。

　試合に先立ち、監督・代表者会議が行われ、本年もその席上でボールに対する粘着物の使用についての賛否両論が拮抗いたしました。

　小学生用ボールが採用された昨年、そして今年の大会においては、以前よりボールコントロールもよく、パスの確実性、大人顔負けのラテラルパスが随所に見られるようになり、プレーに好結果を与えているように思われます。そこでこれを機会に、粘着物の使用・不要論を、いろいろな面からご検討いただき、日本協会としての方向付けをご提言いただければと、大会開催者の一人として希望する次第です。

　大会の結果と希望を申し上げ大会の報告といたします。

連載6

ミニハンドボール

ポール・アーカード／エリック・スコーガード共著　小西　博喜監修

3 テクニック（その5）

●組み合わせ練習（ディフェンス）

ミニハンドボールでのディフェンス側のプレイヤーの動きのパターンは、普通のパターンとは違う。この主な理由は、身体の接触が普通のハンドボールで考えられている同じ位、禁止されているからである。

もう一つの理由は、大きさと重さである。プレイする場所の大きさと、プレイヤーの大きさの両方、そして、プレイヤーの体重である。

どんな実際的な目的でも、プレイヤーは互いに接触してはいけない。そして、これがディフェンスにおける動きに影響を与えている。

ミニハンドボールにおける多くは初期の経験によって、たくさんの子供たちがバスケットボールのように、ディフェンスのボジションを本能的にとることが分かる。しかし、手を下げてではなく、上げてである。

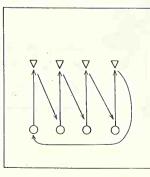
●最初のポジション

ディフェンスのプレイヤーの最初のポジションを示す。

（練習67）

指示したように位置する（2列で互いに向かい合う）。距離は約3～4m。1列が（ショートステップで）前へ歩いて行って、もう1列のプレイヤーの両手を叩く。それから後ろに走って行って小さく、しかし、速いステップで元のポジションに戻る。

（練習68）

6～8人のプレイヤーのグループのポジション。2列の距離は約2～3m程。ディフェンス側のプレイヤーは、最初のポジションをとる。攻撃側のプレイヤーは、ゴールにシュートする形をとる（気に入った方の手で）。ディフェンス側のプレイヤーは、急いで前へ走って行って攻撃者のシュートをする方の手を叩く。そして、ディフェンスのプレイヤーは、走って戻り、速く、小さなステップで次の攻撃者（右の）に対する位置に戻る。それを続ける。一番右端のディフェンス側のプレイヤーは、ディフェンス・ラインの後ろに走って戻り、一番左端のところでディフェンスのポジションをとる（横走りをする）。攻撃側とディフェンス側の役割を変えることを忘れずに。

（練習69）

指示したように位置する（2列をつくり互いに向き合う）。プレイヤーは手の平を相手の手の平に合わせる。ひざは軽く曲げる。手を接触させたまま、横向きで、体育館の反対側まで走る。グループ全体がこの練習を終えたら、横走りで反対側へ行く。

（練習70）

練習69と同様に、しかし、プレイヤーはどれ位の距離で、どの方向にするかを決めながらターンをする。横向きに走らなければならない。

〈応用〉ペアの2人が、やりたいだけ長い間、どんな方向にでも走る。

●動き練習（アタック）

アタックのための動きのパターンは、ミニハンドボールでは「ピストン・ムーブメント」の習得に限られる。練習44、45を参照すること。

交差して走る（クロス・ラン）ことを教えるのは、最後において、普通はアタック・プレイの機能の一つとして組み入れるべきである。

●パリーズ（ボールを阻止する）

子供たちが、ボールを阻止することを恐ろしがらないことが大切である。

〈コメント〉

1 普通、子供たちにパリーを教えることは、普通のハンドボールパスを教えたり、ジャンプショットを教えたりすること程必要ではない。

2 教えることを強要してはいけない。体力と勇気によってグループを作ること。

3 子供たちに、自分自身や顔を守ることを教えること。

4 ボールを阻止する場合は、ゴール前でシュートをしようとしているプレイヤーの近くで行うことが大切であることを子供たちに教えること。

5 子供たちに、相手のシュートのとき、手や腕の筋肉を緊張させることを教える。

6 子供たちに、できるだけ早くボールにさわり、そのときに指を軽く開き、決して握りこぶしを作らないよう教える。

子供たちにディフェンスのプレイを教えようとするとき注意すべきこと。

1 パスの妨害

2 シュートを阻止すること

●ゴールへのシュート

▽通常のハンドボールのシュート

（練習71）

グループで位置を決める。AはBにボールを投げ、BはAにボールを返し、次にAがゴールに向かって動く。Aはゴールにボールをシュートし、ボールを取りに行って、列の後ろに走って戻る。CがBに投げて同様に行う。Bを交替させることと、A、C、Dの場所からは右手シュートを、EとFの場所からは左手シュートを、作戦上有利な位置から行うことを忘れずに。

〈進歩の順番〉

1 歩く

2 ゆっくり走る

3 走る

ボールを返すプレイヤー（B）は、ゴールにシュートをするプレイヤーに、渡すパスの角度を変えるように動いてよい。サイドからか、対角線

上の後方からなど。

〈練習72〉

2列になって位置を決める。AはBにパスし、BはAにパスをするということを繰り返し、ゴールの方へ動いて行く。フリースローラインのところで、Aはゴールにシュートをして、ボールを取って、BとAは反対側の列の後ろに走って戻る。CがDにパスをして、同様に行う。

〈進歩の順番〉

1 歩く
2 ゆっくり走る
3 走る

〈練習73〉

グループで位置を決める。Aは片手で印のまわりをドリブルし、ゴールにシュートをする。Bも同様に行う。

〈進歩の順番〉

1 歩く
2 ゆっくり走る
3 走る
反対側のサイドから、弱い方の手を使って。

〈練習74〉

グループで位置を決める。合図でゴールキーパーはボールをAに投げる。Aはそのときボールを支配しようとしている。Aは片手でゴールに向かってドリブルし、フリースローラインの付近にシュートをする。Aはボールを取って、列の最後尾に走って戻る。次の合図で同様に続けていく。

▽ジャンプシュートとラインからのジャンプシュート

ジャンプシュートとラインからのシュートのためには、体力的な練習と、コーディネーション（共同作業）の練習の両方が必要である。

経験によって技術的に多くのことが要求されるゲームの部分（シュート）を実行する能力は、子供たちによって非常に違うことが分かっている。

どんな状況でも、習得の遅い子供たちをあきらめさせてはならない。彼らにはもう少し多くの回数をやってみることが必要なだけなのである。

準備的な練習は、練習75～78に示した。省略も可能。練習66は初心者に推薦できる。

指導委員会より

西日本学生選手権でコンピュータを用いて記録集計

本年度の西日本学生選手権は名古屋において8月15日より19日まで開催された。この西日本学生選手権において、日本ハンドボール協会指導委員会、日本リーグ電算化委員会、東海学連の協力、タイアップでコンピュータを用いて記録集計が行われた。この記録集計を基に、公式ではないが、日本で初めて客観的データに基づいた各個人賞が設定され、男女それぞれ9項目について賞品が手渡された。公式には優秀選手が選考されているが、このような客観的なデータに基づいた表彰も必要であると考えている。表彰は閉会式最後に行われたが、選手には好評であった。

この集計システムは、アジア選手権、アジア大会に利用したもので、熊本サマーカップにも利用されたことは、既報の通りである。今年度より日本リーグの記録集計にも利用される事になっている。

計画当初は、予選リーグを含め全試合の記録を試みようとしたが、入力要員等の養成に時間がなく、予選リーグで入力要員の養成を行い、決勝トーナメント男子8試合、女子4試合を対象にデータのまとめを行った。

記録入力は南山大学と中京大学の学生の協力を得た。

9項目の各賞と内容は以下の通りである。

1 最多得点
2 最高シュート率（得点ランキング10位以内を対象として）
3 最高シュート阻止率（被全シュートに対する得点にならなかったシュートの割合）
4 最多7mスロー阻止数
5 最多ロングシュート得点
6 最多ポストシュート得点
7 最多サイドシュート得点
8 最多カットイン得点
9 最多速攻得点

各賞の受賞者と成績は別掲の通りである。

これらは記録として入力しているものを拾いだしたものであるが、この他にも入力している項目があるので、紹介する。

7mスロー得点、シュート結果（ゴールインしたものはそのコース。失敗したものはGKにはじかれたもの、ゴールポストにあたったもの、ゴールポストの外にでたもの、ブロックされたものに分類して記録）、ミス（大きくは3項目に分類しているが、基本的にボールを失う原因となったプレーを記録している）、警告、退場、失格、追放。

これらの項目はネガティブな項目であり、個人賞として設定するにはふさわしくないが、チームとしてまとめれば、フェアプレー賞、最小ミス賞などポジティブな賞として設定できる。

指導委員会としては、全日本総合など大きな大会ではこのようなことも必要であると考えており、熊本での世界選手権も一応、視野に入れている。そのための課題はまず入力要員の養成である。これにはプレーを判断する必要があるためハンドボールの経験があることが望ましい。次にデータ処理要員が必要となってくる。これにはコンピュータに関する基礎的な知識が必要である。大きな大会を少ないメンバーで（現実にはいままで指導委員2名が中心になって

	男子		女子	
最多得点	池辺健二（大体大）	21点	甲斐万起子（福教大）	23点
最高シュート率	池辺健二（大体大）	91.3%	森下慶子（福岡大）	84.2%
最高シュート阻止率	濱口　靖（大体大）	65.0%	遠竹純子（福教大）	50.9%
最多7mスロー阻止	坪根敏宏（福岡大）	3本	緒方美佳（福岡大）	3本
最多ロング得点	萩原康仁（大経大）	12点	比嘉晴美（福岡大）	6点
最多ポスト得点	池辺健二（大体大）	17点	森田美保（武庫川）	6点
最多サイド得点	山田和弘（福岡大）	6点	杉原奈々（武庫川）	10点
最多カットイン得点	上野修一（大体大）	3点	甲斐万起子（福教大）	8点
最多速攻得点	荒木誠司（大体大）	12点	三輪田裕美（武庫川）	7点

行ってきたが）恒常的にして行くのは、時間的にも、エネルギー的にも限界がある。

また、このシステムは利用の仕方に関わらずチームでの利用も可能であり、チームの記録のデータベース化にはもっとも便利なシステムと考えている。

このシステムを利用してみようと思われる方、またご協力願える方は、日本協会指導委員会までご連絡下さい。

ふくしま国体速報サービス

ふくしま国体で競技記録の速報サービスの「FAXサービス」と「パソコン通信情報サービス」が行われます。情報内容は、『競技の結果』『トーナメント表』『競技日程』『福島県勢の活躍』『総合成績一覧表』『その他』となっています。情報提供期間は、秋季大会は「FAX情報サービス」が平成7年10月7日から10月30日まで、「パソコン通信サービス」が平成7年10月14日から10月19日までです。

「FAX情報サービス」の利用方法は、各家庭・事務所のFAXからINFAX情報サービスまたはNHK情報ネットワークへ電話をかけます。

INFAX情報サービス
0245−33−5200
NHK情報ネットワーク
03−5454−0888

音声案内に従って必要な情報ボックス番号を入力します。ハンドボールのボックス番号は、INFAXが1901、1902、1988と1999です。NHKのボックス番号は640、641と642です。

「パソコン通信情報サービス」の利用方法は、

1 下記アクセスポイントへ電話をかけて下さい。

0245−35−5366
（秋季大会）

2 アクセスすると、画面上に「ログイン画面」が表示されます。

3 「IDを入力して下さい」という項目に「GUEST」と入力します。

4 リターンキーを2回入力します。

5 すると、トップメニュー画面が表示されますので、「B」競技成績・総合成績を選択します。

6 次に競技選択メニューが表示になります。

7 希望する競技番号を（当然ハンドボールですが）入力する。

8 以下、ガイダンスに従って、番号を入力することにより、必要な記録を照会することが出来ます。

両サービスとも会員登録等の申し込みは一切必要ありません。利用料金は一般の電話料金だけです。利用時間は、提供期間内であれば24時間いつでも利用出来ます。

利用方法等に関するお問い合わせは「FAX情報案内サービス」は㈱インフォメーション・ネットワーク福島、☎0245−24−1188まで。「パソコン通信情報サービス」は下記県記録本部まで。

☎0245−35−7778
（秋季大会）

大会期間中の午前9時〜午後6時まで。

誌上ルールテスト

あなたは何問出来ますか？

プレイヤーの皆さん、ハンドボールはルールを全部覚えていなくても、特に支障なくゲームをすることが出来ます。しかし、ゲームの大事な場面で激しい攻防の結果の反則ならあきらめもするが、つまらない反則で（ルールを知っていれば起こらない反則）退場になったり、7mスローをとられたりでは泣くに泣けません。プレイヤーの皆さんもルールの勉強をしましょう。

次の様な事例の時、それぞれどの様なルールが適用されるでしょうか。a～dの中から選んで下さい。

1　Aチームのゴールキーパーの足がゴールキーパースローの際、ゴールエリアラインにふれた。

a　笛の後でゴールキーパースローをやり直す。
b　Bチームにフリースローが与えられる。
c　Bチームに7mスローが与えられる。
d　これは許されているので続行。

2　ボールがゴールエリアライン上に止まっている。攻撃側Aチームの7番がこれを拾いシュートした。A7は明らかなシュートチャンスであり、他のルールには何も違反していない。

a　Bチームにフリースローが与えられる。
b　Aチームにフリースローが与えられる。
c　Aチームに7mスローが与えられる。
d　Bチームにゴールキーパースローが与えられる。

3　ゲーム開始はどの時点か？

a　ファーストレフェリーの笛が吹かれたとき。
b　スローアーの手からボールが離れたとき。
c　タイムキーパーが公示時計をスタートさせたとき。
d　コートレフェリーがスローオフの笛を吹いたとき。

4　ベンチにいるプレイヤーまたはチーム役員はどんなときにコートに入ることが認められているか。

a　タイムアウトになっているとき。
b　タイムアウト中にレフェリーの許可を受けたとき。
c　プレイヤーが負傷したとき。
d　タイムキーパーから許可があったとき。

5　攻撃側のチームのA7はゴールエリアの外にいる。彼らは明らかにゴールエリア上に浮かんでいるボールを取り、シュートをして得点させた。

a　得点を認める。
b　Bチームにフリースローを与える。
c　Bチームにゴールキーパースローを与える。
d　笛の後の、Bチームにゴールキーパースローで再開させる。

※答えは29頁

私のチームづくり

ハンドを通じて「絆」づくりを

富里町スポーツ少年団　富里北中ハンドボール　責任者　窪田　優

私は、千葉県印旛郡富里町にある町立富里北中学校で社会スポーツとしてのハンドボール活動のサポートをしています。長女が、小学校4年の時、友達に誘われてハンドボールをやる事になるまでハンドボールというスポーツを聞いたことはあるものの見たこともありませんでした。平成2年1月6日、7日、読売杯関東ちびっ子ハンドボールの試合があり、応援に出かけたのが初めてでした。会場の体育館は非常に寒く、長時間の応援はつらかったのですが、娘もほんの少し出場させてもらえました。6年生に交じった娘は、ボールをもらうとシュートどころか誰かにボールを渡すことだけで精一杯、まるで爆弾を預けられてしまっているように見えたものです。その姿はとってもいじらしく思え、その時だけは寒さを忘れる事ができました。

筆　者

後日、このクラブは結成されて日も浅いため、父母会がないこと、稲生監督ご夫妻だけでお世話してくれている事を知りました。主だった数人の父母と話し合い、日吉台ハンドボール父母会を結成する事によって本格的にハンドボールとお付き合いをする事になったのです。

日吉台小学校の女子を中心に活動していた日吉台ハンドボールクラブも、卒業していく子供たちの行く富里中学校にはハンドボール部がなく、それぞれ既設の部活に入部する以外ありませんでした。中学生になるとハンドボールから離れざるを得ません。そんな状態が2年続いた平成4年、監督より「9月に協会主催の中学1年生大会があり、中学校の部活でなくても出場出来る」との話がありました。子供たちは目を輝かせて出場に意欲を持ち、中学の部活に入部しているにもかかわらず子供たちはお互いに誘いあって夏休みも後半から久し振りのハンドボールの練習に集まりました。父母、小学生の応援も大騒ぎ。結果は準決勝で敗れたものの、本当に楽しそうでした。

翌年の卒業生も1年生大会へ出場することを希望したので、同様の準備をしました。この年の結果は見事に優勝を飾りました。しかし、いずれも1年生大会だけの出場で終っていました。平成6年の卒業生は第9回少年少女関東ハンドボール大会優勝（日吉台が4年、5年連続優勝）、冬の読売杯優勝の経験を持った子供たちでした。今までの部活の経緯から中学校に部活として受け皿を作ってもらいたいと思う気持ちが必然的に起こってきました。この事を中学校側に要望しましたが「担当出来る顧問がいない事、現在の教員に過度の部活負担を求められない」という事が主な理由として断わられました。

しかし、社会スポーツとしての部活は可能との事なので、富里町教育委員会保健体育課とも相談しながら計画を進め、コーチは順天堂大学生、グランドは用地が狭いため、野球部用地に野球グランドが出来るまでの約束で借用する事になりました。しかし、いざ3月になってみると、ハンドボール希望者は3人だけでした。部活ではないので、部費の負担、父母の負担、先行き存続の不安も懸念された事が原因です。しかし3人では活動出来ないので、他の部活で活躍している元ハンドボールの先輩に相談した結果、バレー部キャプテンを含む4人の2年生がバレー部を退部してハンドに加わってくれることになり、新1年生3人、新3年生4人、合計7人で社会スポーツとしての北中ハンドボールがスタートしました。

グランドは父母の会社関係者の協力で立派なコートが出来、倉庫（部員は部室と言っている）も寄付して頂きました。夏の千葉県中総体にも参加し、1回戦惜敗。夏休み以後は3年生が引退し、1年生が3人だけの練習が続きました。この年の1年生大会には元の部員にも手伝ってもらい参加しましたが2回戦で敗れました。その後、ハンドボール未経験の部員も増え、平成7年の卒業生5人を迎え、現在10人の部員が活動しています。

社会体育としての課題はたくさんあります。部員の勧誘、指導者確保の問題、活動場所の問題、予算の問題、各種大会に中体連の参加条件の緩和等が考えられますが、活動の在り方としては地域スポーツになる事によって家族の関わり、兄弟姉妹の関わり、地域のふれあい等々、現代社会に薄まりそうになっている絆が期待できるものと確信しています。

こうした活動は関係者の多大な協力があって成せるものですが、特に学校や行政のサポートが希薄であれば一部の関係者がどんなに努力しても、それは徒労に終ってしまう事になりかねません。日吉台ハンドボールクラブも、最近は男子の部員が増えており、地域の中でハンドボールの広がりが感じられます。今後も益々この輪が大きくなる事を願っています。

27頁「誌上ルールテスト」◇解答とその根拠となる条項　1-d（1-9）　2-a（1-9、6-4、13-1-c）　3-d（2-2、18-5）　4-b（4-4）　5-a（6-4、9-1）

列島縦断④

明日を睨んだ組織づくり

愛知県ハンドボール協会理事長　角　紘昭

まず最初に、昨年の第49回国民体育大会におきましては、日本ハンドボール協会はじめ全国の選手・役員の皆さんのおかげを持ちまして成功裡に終わることのできましたことを心からお礼申し上げます。

平成7年度は、県協会の役員改選の年で、国体の成功を期に浅野前理事長より「ハンドの愛知」を受け継ぎました。愛知県協会のハンドボールは、これまで、高校、実業団をはじめとして、様々な分野で日本のハンドボール界をリードしてきた協会の一つと言っても言い過ぎではないと思っています。

そんな協会が、全力をあげて取り組んだ国体が終わった後の取り組みについて、新しいスタッフで検討しつつ、次の4点を柱として新年度をスタートしました。

一　競技力の強化

強化についてはこれまでもいろいろな方策を取ってきているが、それらを受け継ぎつつ、これまで以上の結果を出せるよう努力していく。

①中学、高校の連携を密にしていき、人材の発掘と同時に、発達段階に応じた指導法による選手育成をはかる。

②日本リーグ一部チームを多く抱えている利点を生かし、そこから新しい技術や練習方法を学び、県全体のレベルアップを図る。

③有力チームとの交流を図る。

二　普及事業の推進

国体種目別総合優勝によるPR効果もさることながら、白熱したすばらしい試合を直に観戦した3地区では、ハンドボールの魅力に取りつかれたファンが確実に増えました。また、これを機会に一度、ハンドボールをやってみたいから、わが子にやらせたいので、どこでできるのかという問い合わせも多くなりました。

ハンドボールを普及させるには、良いゲームを見せること、気軽にプレー出来る場所を提供することがポイントだということを再認識しました。さらに、学校5日制の本格的な実施を視野に入れ、社会体育の分野での広がりを考えていくと共に、この普及事業は将来の強化につながる協会の重要な部門であることを認識しています。

そこで、普及事業としては、

①日本リーグをはじめとした一流のゲームを、出来る限り多く開催して、その魅力を肌で感じてもらう。

②学校における部活動ばかりでなく、小中学生を対象としたハンドボール教室の開設、充実をする。

③県内におけるクラブチームの組織化を進めると同時に、各年令層に応じたゲームの場を設定する。

④高校生を中心とした交流会を開催し、ゲームの楽しさを味あわせる。

三　審判部の充実

プレイヤーの技術向上やゲームの楽しさや面白さを引き出すためには、審判員の養成とその技術研鑽は欠かすことの出来ないものであります。そこで、審判部を中心に国際審判員をはじめ、県内109名のC級以上の公認審判員の技術向上と、より多くの公認審判員の養成を進める。

四　組織強化

県下、各市に協会が設立され、それぞれ独自の活動が盛んになりつつある中で、各市理事長会を開催し、情報交換と連絡調整を行うことが県協会の重要な役割の一つとなってきている。

そこで、役員の数、会員規定、専門部の見直し等々、規約改正を中心として、協会組織の見直しを進め、ハンドボールを通してスポーツライフを楽しめるような協会運営を進めていこうと考えています。これまで述べたように、今後の協会の取り組みは、大会運営や頂点強化のみならず、指導者や協会関係者が生涯体育・生涯スポーツの考え方を十分理解した上で、ハンドボールを広め、発展させる方策を実施していくことだと考えています。

フリースロー

「パソコン通信を楽しもう」

企画・広報委員　早川　文司

電子機器の発展には驚くばかりだ。とりわけ、通信の分野においてはここ数年の様変わりは目を見張るばかりである。われわれジャーナリストの周辺だけを見渡しても、つい数年前まで原稿の送信はファクシミリが主流だった。

ところが今や、手書きの原稿はすっかり姿を消し、すべてワープロを前にパシャ、パシャとキーボードをたたいている。昔人間の私にはなじめない面もあるものの、時流を止めるわけにはいかない。老眼鏡をずらしながらポツン、ポツンとキーをたたいているありさまだ。そして送信はワンタッチ。私にとっては恐るべき変革の時代の到来である。

こう書けば賢明な皆さんは「時代遅れ」と笑い転げるかも知れないが、本人は大まじめで悪戦苦闘している。それも、これも少しでもハンドボールのデータ収集が出来ればとの願いがあるからにほかならない。

ご存じのように、ハンドボールの世界にもパソコン通信はどんどん入り込んで来ている。このたびは「ホームパーティ」を開設し、多くの情報を瞬時に、しかもどこからでも入手できるようになった。また、日本協会の登録管理もコンピュータ化されたし、20回目を迎える日本リーグのデータも電算処理しようという準備が進んでいると聞く。

この試合データの電算処理は、昨年の広島アジア大会で実証済み。素早く報道関係者に配布、好評を得ている。今年の広島、熊本の国際親善大会でもいっそう威力を発揮した。

ご尽力されている村松誠先生らの苦労は大変だろうが、実に有り難い情報だ。今後、改良されて、より精度の高いデータが提供されることだろう。

せっかくのホームパーティを利用しない手はない。どんどん情報を交換してハンドボール仲間を増やしたい。友人・知人が増えれば増えるほど、ハンドボール・パワーにますます磨きがかかってくるはずだ。

95年度事業予定

(財)日本ハンドボール協会

全国大会(会場)

月	日程	大会名	会場
95/4			
5	12〜14	第36回全日本実業団選手権大会(男子)	大阪市立中央体育館
	12〜14	第36回全日本実業団選手権大会(女子)	愛知県体育館
6			
7	28〜30	第15回全国クラブ選手権大会	高松市総合体育館・香川県立体育館
	29〜31	第8回全国小学生ハンドボール大会	京都府田辺町田辺中央体育館
8	2〜7	第46回全日本高校選手権大会	倉敷市水島緑地福田公園体育館 県立青陵高等学校
	5〜6	第22回全国高等専門学校選手権大会	大阪府体育館
	8〜10	第3回全国教職員マスターズ大会	豊田市
	9〜13	第38回全日本教職員選手権大会	広島市佐伯区スポーツセンター体育 湧永満之記念体育館他
	15〜19	西日本学生選手権大会	名古屋市天白区スポーツセンター他
	17〜21	東日本学生選手権大会	函館市民体育館他
	19〜22	第24回全日本中学校大会	埼玉県草加市健康都市記念体育館
9			
10	15〜19	第50回国民体育大会	福島県本宮町総合体育館他 石川町総合体育館他
	24〜	第20回日本リーグ(前期〜12/10)	各地
11	14〜19	第38回全日本学生選手権大会	宮城県仙台市体育館
12	14〜17	第47回全日本総合選手権大会(男子)	東京体育館
	21〜24	第47回全日本総合選手権大会(女子)	神戸市総合運動公園グリーンアリーナ
	26〜28	第4回JOCジュニアオリンピックカップ	大阪府堺市立大浜体育館他
96/1	6〜	第20回日本リーグ(後期〜3/17)	各地
2	10〜12	第27回全日本実業団トーナメント(男子)	福井県・北陸電力体育館
	10〜12	第4回全日本実業団トーナメント(女子)	福井県・北陸電力体育館
3	25〜28	第19回全国高等学校選抜大会	愛知県体育館
	28〜31	第20回日本リーグプレイオフ	東京

その他

月	日程	内容	場所
95/4	2〜4	第3回アジア女子ジュニア選手権大会	韓国・ソウル
	6〜8	第5回女子アジア選手権大会	韓国・ソウル
5	7〜21	第14回男子世界選手権大会	アイスランド
6	1〜20	女子ナショナル・ヨーロッパ遠征	
	5〜10	男子ナショナル強化合宿	名古屋
	22〜	女子ナショナル強化合宿	名古屋
7	14〜16	第1回広島国際大会	広島
	21〜23	サマーカップ	熊本
	29〜	男子ナショナル・ヨーロッパ遠征(〜8/16)	
8	23〜27	男子ナショナルB海外遠征	ドイツ
	28〜	男子ナショナル・コンチネンタルカップ(〜9/3)	フランス
	29〜	男子ナショナル・強化合宿(〜9/8)	本田技研鈴鹿
	28〜	女子ジュニア・強化合宿(〜9/1)	
9	9/2	〈会議〉常務理事会	
	5〜13	女子ナショナル強化合宿	オムロン
	5〜17	第10回女子ジュニア世界選手権大会	ブラジル
	15〜24	男子ナショナル海外遠征	バーレーン
	25〜10/5	第8回男子アジア選手権大会 兼アトランタ五輪予選	クウェート
10			
11			
12	5〜17	第12回女子世界選手権大会	ハンガリー・オーストリア
96/1			
2			
3			

(財)日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』
第三五七号
昭和四十年六月七日 第三種郵便物認可
平成七年九月二十六日 印刷
平成七年十月一日 発行
東京都渋谷区神南一－一－一
電話 代表 三四八一－二三六一
振替 〇〇一二〇－七－一〇二九三
編集兼発行人 中澤重夫
定価三百五十円